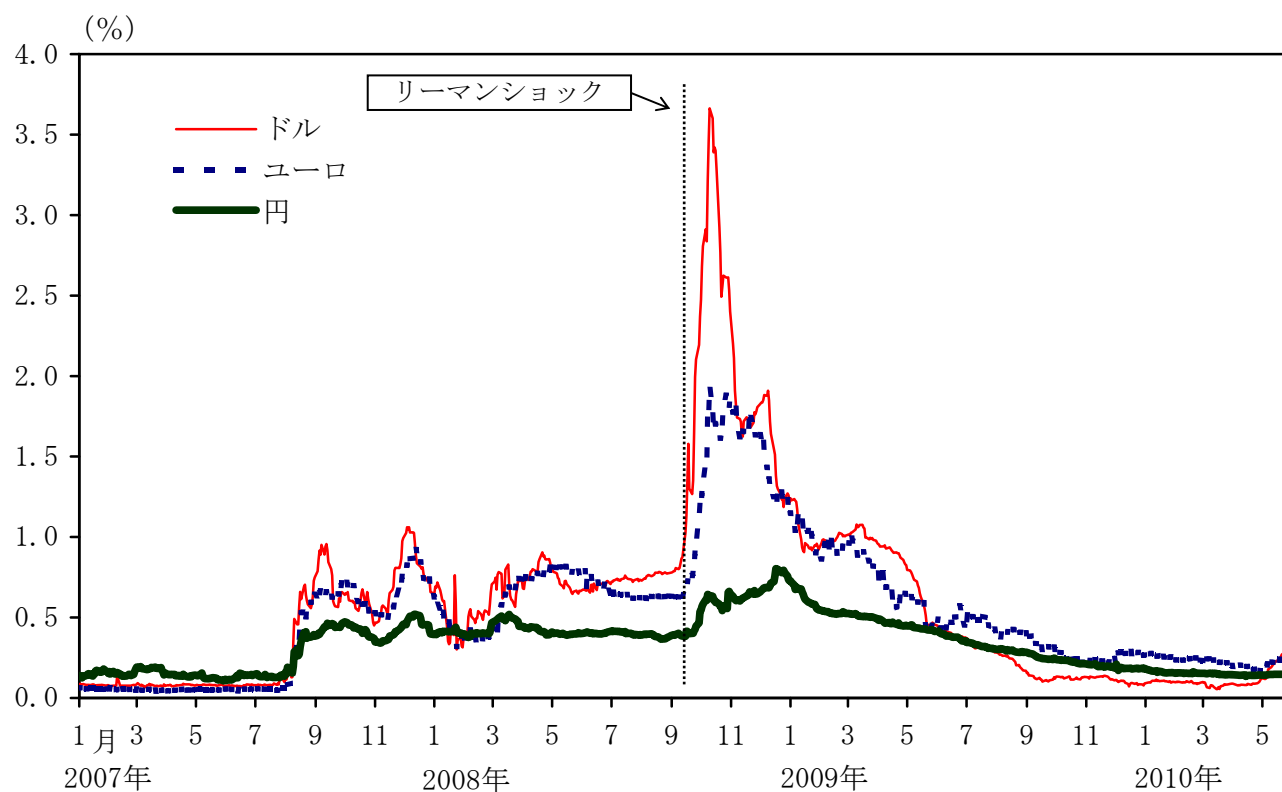
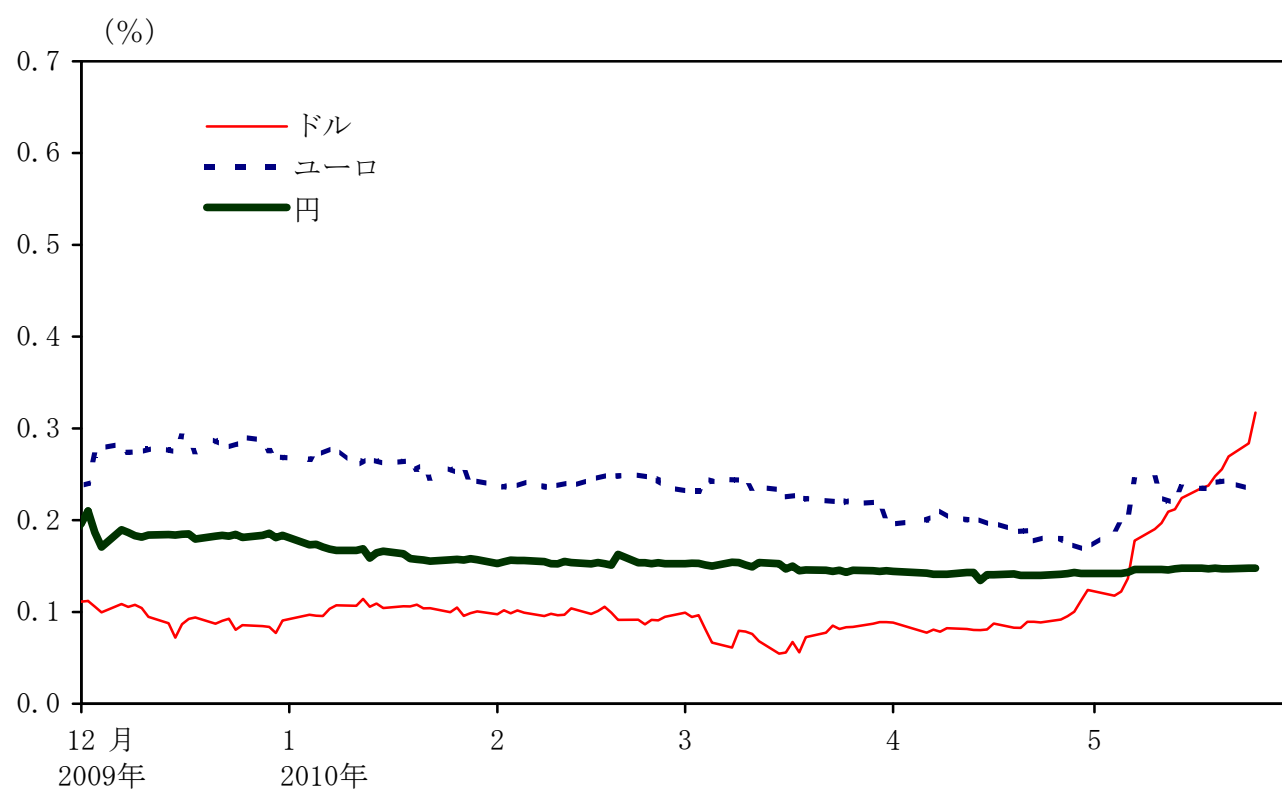


LIBOR-OISスプレッド (3か月物)

(1) 長期時系列

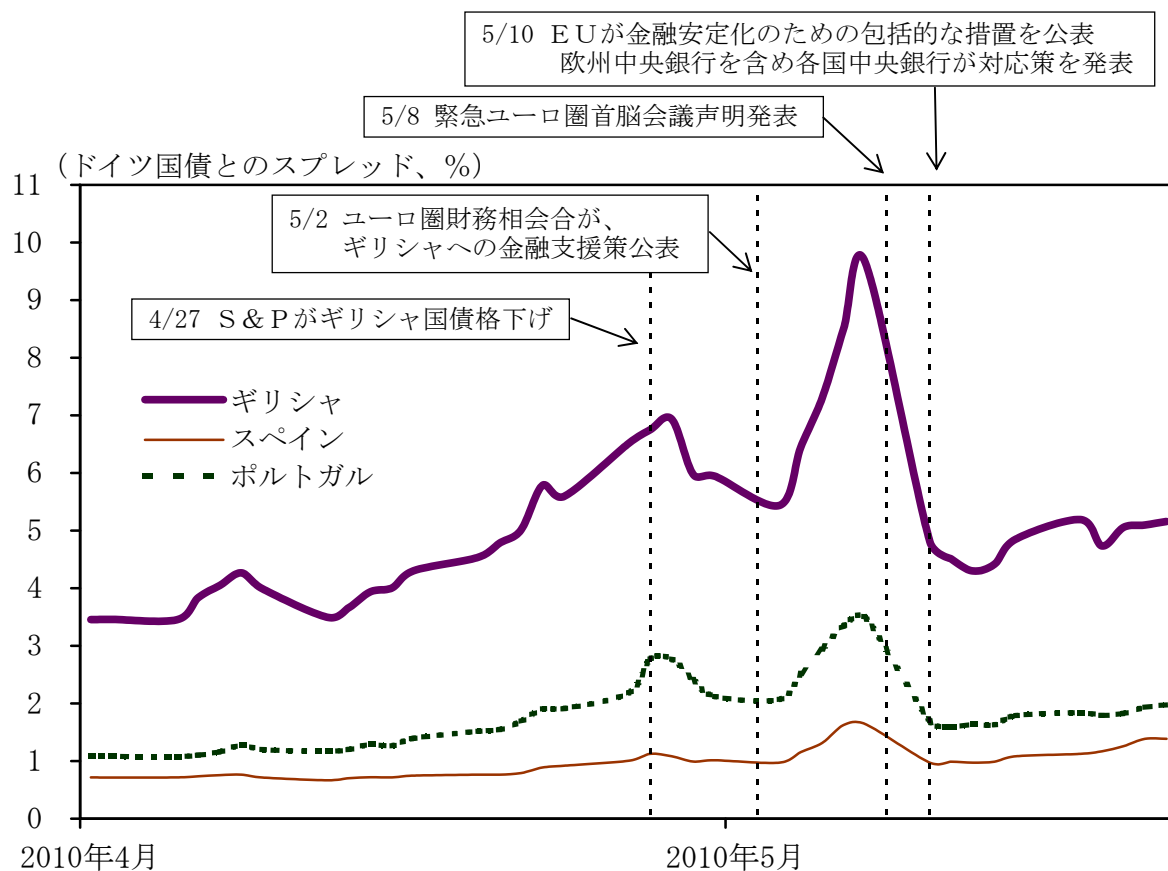


(2) 最近の動向

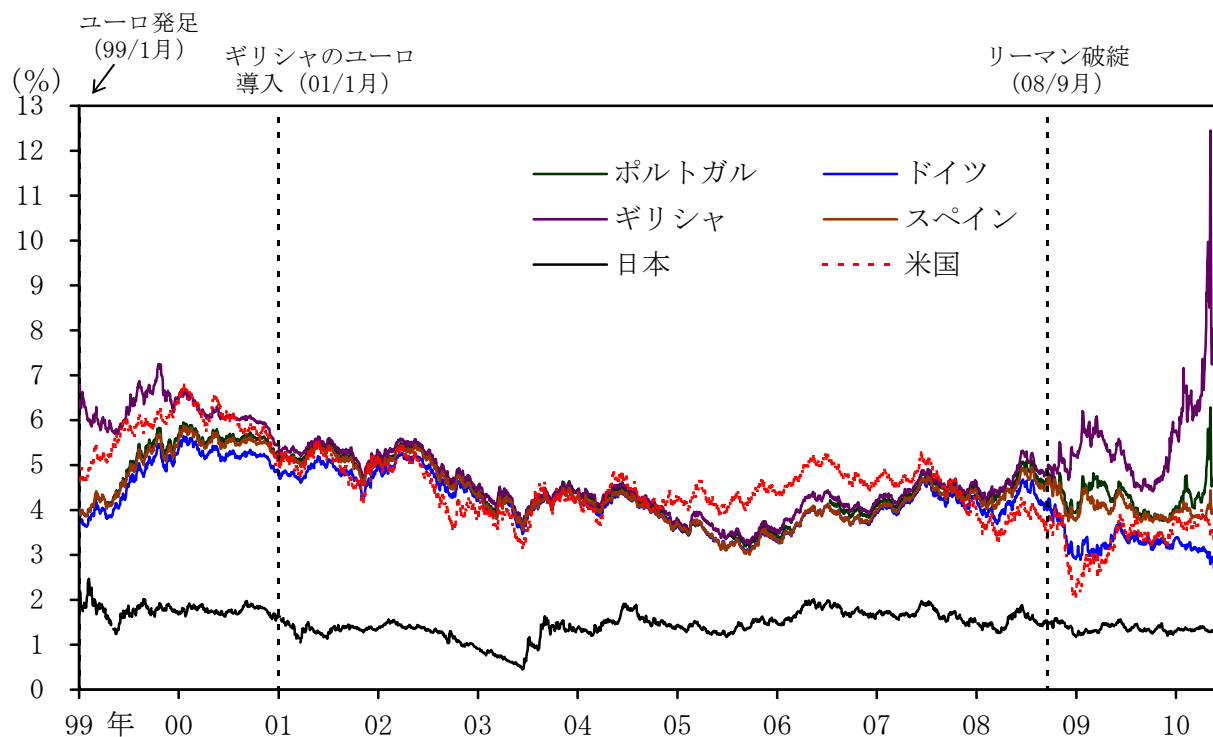


(資料) Bloomberg

ソブリン・リスク

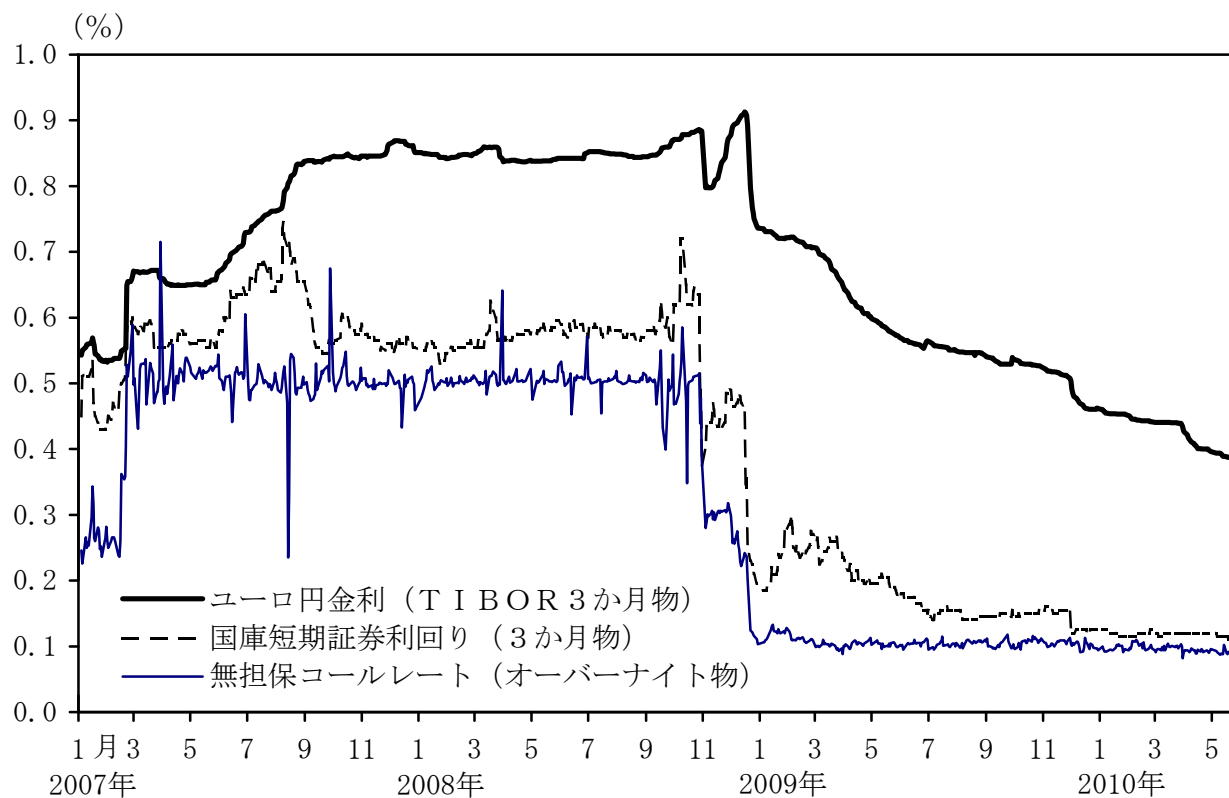


(参考) 10年物国債金利



(資料) Bloomberg

短期金利

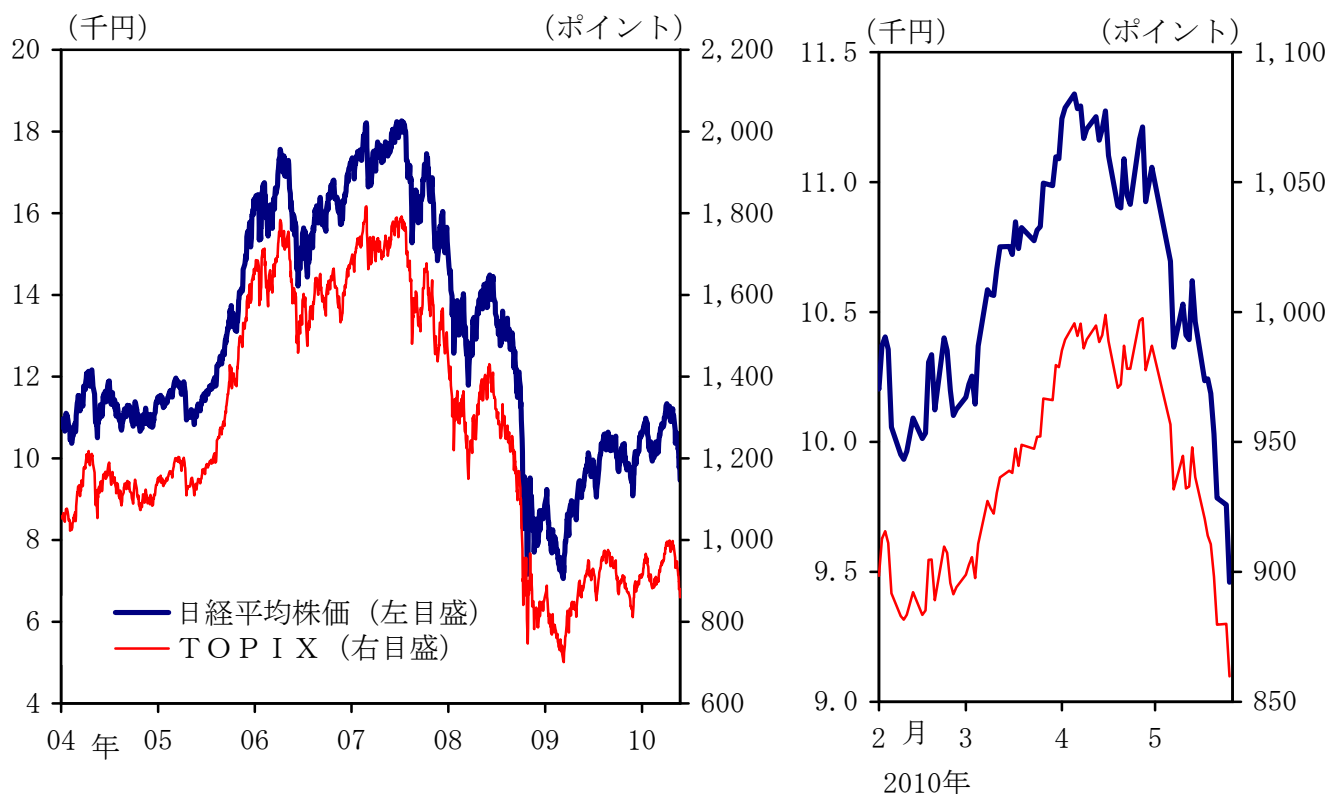


(注) 2009年2月の統合発行以前の国庫短期証券利回りは政府短期証券利回り。

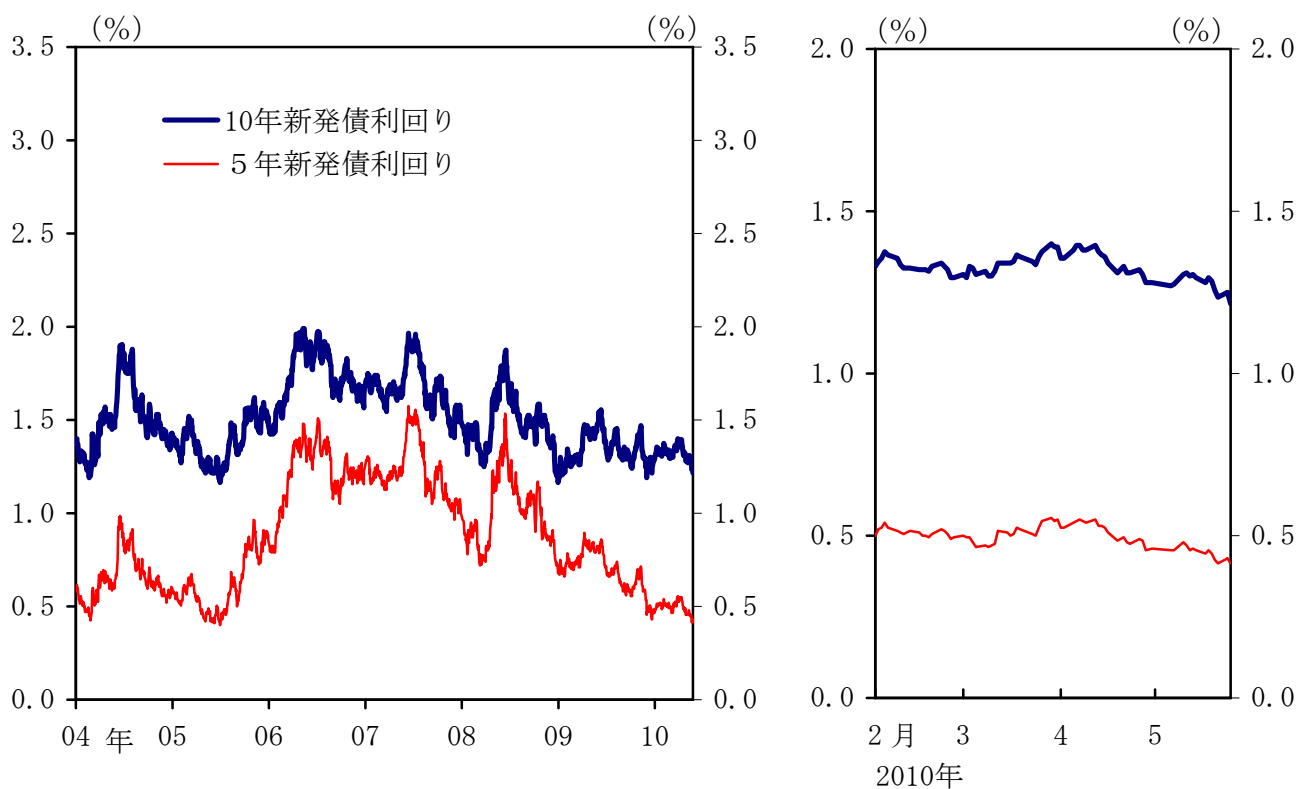
(資料) 全国銀行協会、日本相互証券、日本銀行

株価と長期金利

(1) 株価

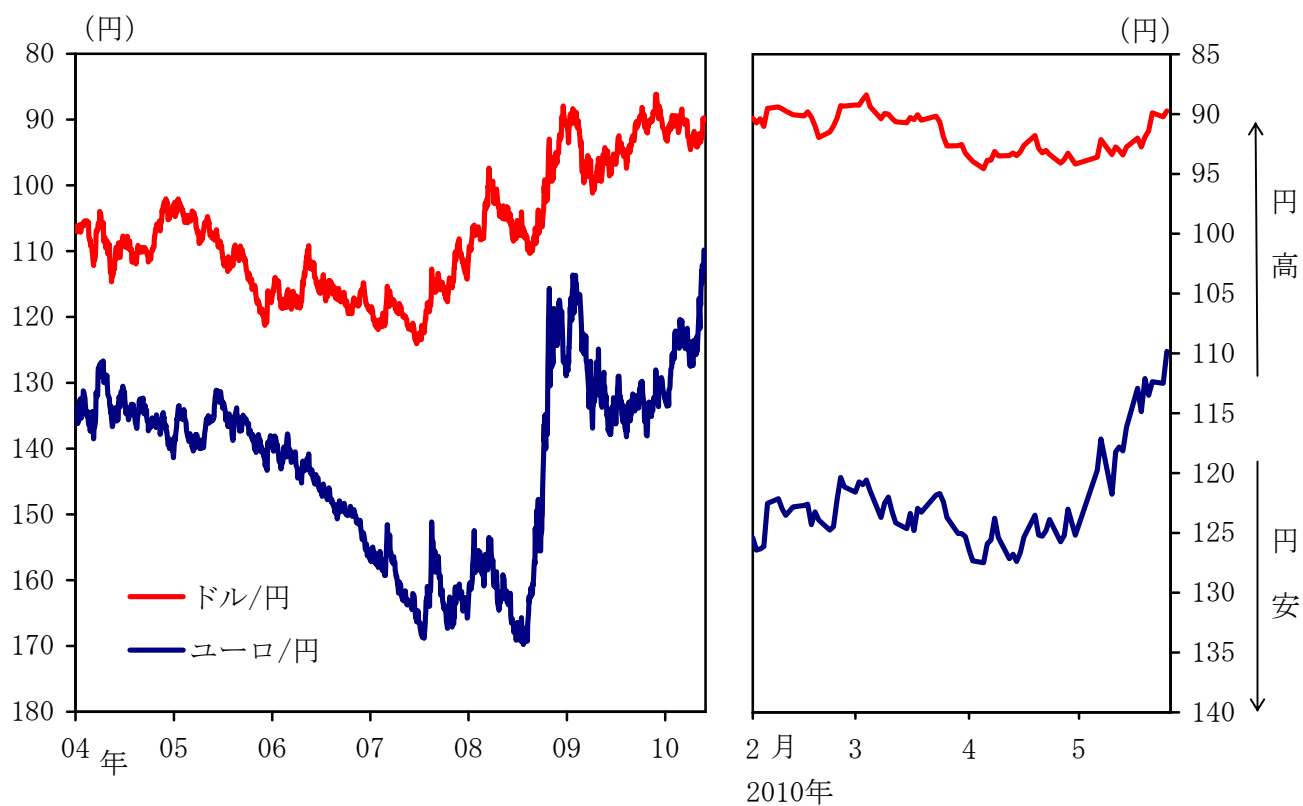


(2) 長期金利



(資料) 日本経済新聞社「日本経済新聞」、東京証券取引所、日本相互証券

為替レート



(資料) 日本銀行

ユーロ圏各国の財政状況

(名目GDP比、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
ユーロエリア	-2.0	-6.3	-6.6	-6.1	n. a.	n. a.	n. a.
ドイツ	0.0	-3.3	-5.5	-4.5	-3.5	-3.0	n. a.
フランス	-3.3	-7.5	-8.2	-6.0	-4.6	-3.0	n. a.
ポルトガル	-2.8	-9.4	-8.3	-6.6	-4.6	-2.8	n. a.
イタリア	-2.7	-5.3	-5.0	-3.9	-2.7	n. a.	n. a.
アイルランド	-7.3	-14.3	-11.6	-10.0	-7.2	-4.9	-2.9
ギリシャ	-7.7	-13.6	-8.1	-7.6	-6.5	-4.9	-2.6
スペイン	-4.1	-11.2	-9.8	-7.5	-5.3	-3.0	n. a.

(注) 2009年までの実績は、Eurostat。2010年以降の見通しは、ユーロエリアは欧州委員会、
 その他は各国見通し。

成長基盤強化を支援するための資金供給の骨子素案

—— 日本銀行・金融政策決定会合後の公表資料（2010年5月21日） ——

1. 対象先

共通担保オペ（全店貸付）の対象先のうち希望する先

2. 資金供給の方式

共通担保を担保とする貸し付け（共通担保オペと同様の方式）

3. 貸付期間

原則1年とし、借り換え（ロールオーバー）を可能とする。

4. 貸付利率

貸付時の無担保コールレート（オーバーナイト物）の誘導目標水準

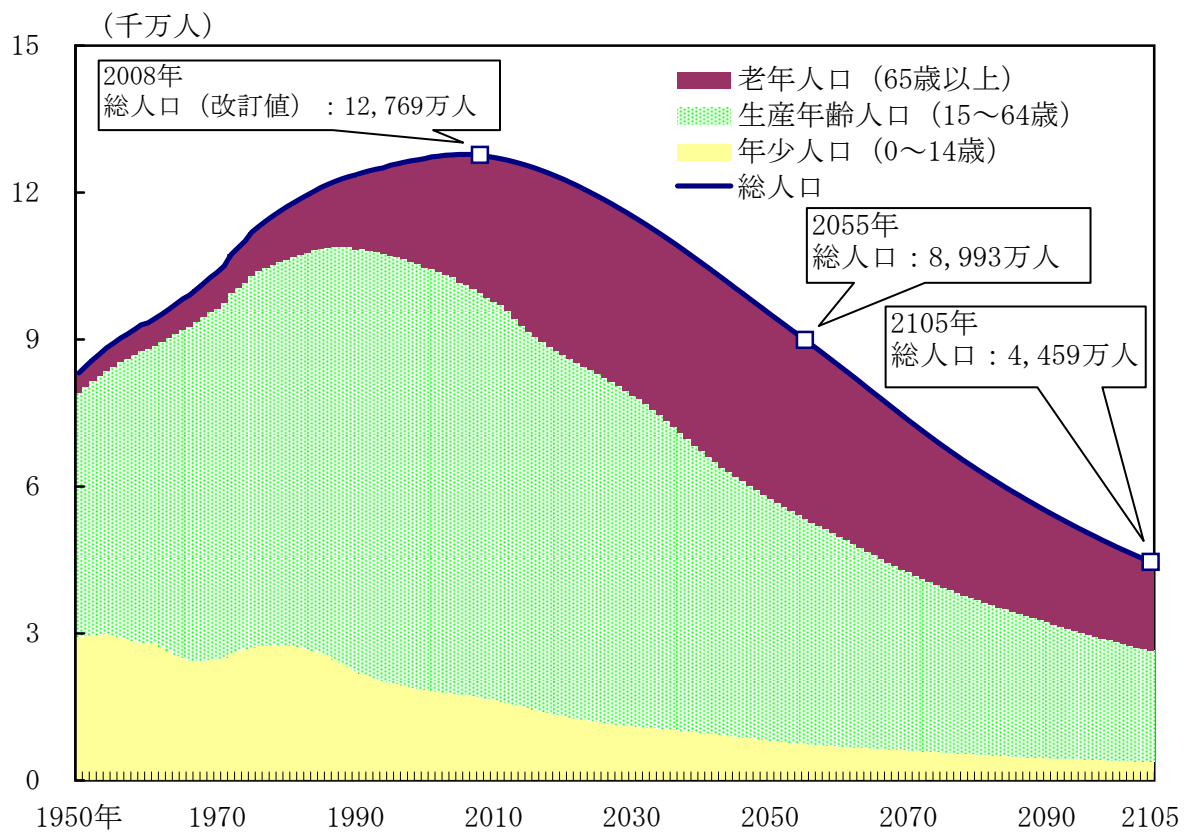
5. 対象先毎の貸付額

対象金融機関から成長基盤強化に向けた取り組み方針の提示を受け、そのもとで行われた融資・投資の実績に基づき、当該金融機関に対して貸し付けを行う。

6. 貸付総額、貸付受付期限等

成長基盤強化に向けた融資・投資への金融機関の取り組み状況等を踏まえ、本措置の開始時に、貸付総額、貸付受付期限（新規に貸付を受け付ける期限）、借り換え可能な回数を定める。

将来推計人口 (出生中位)

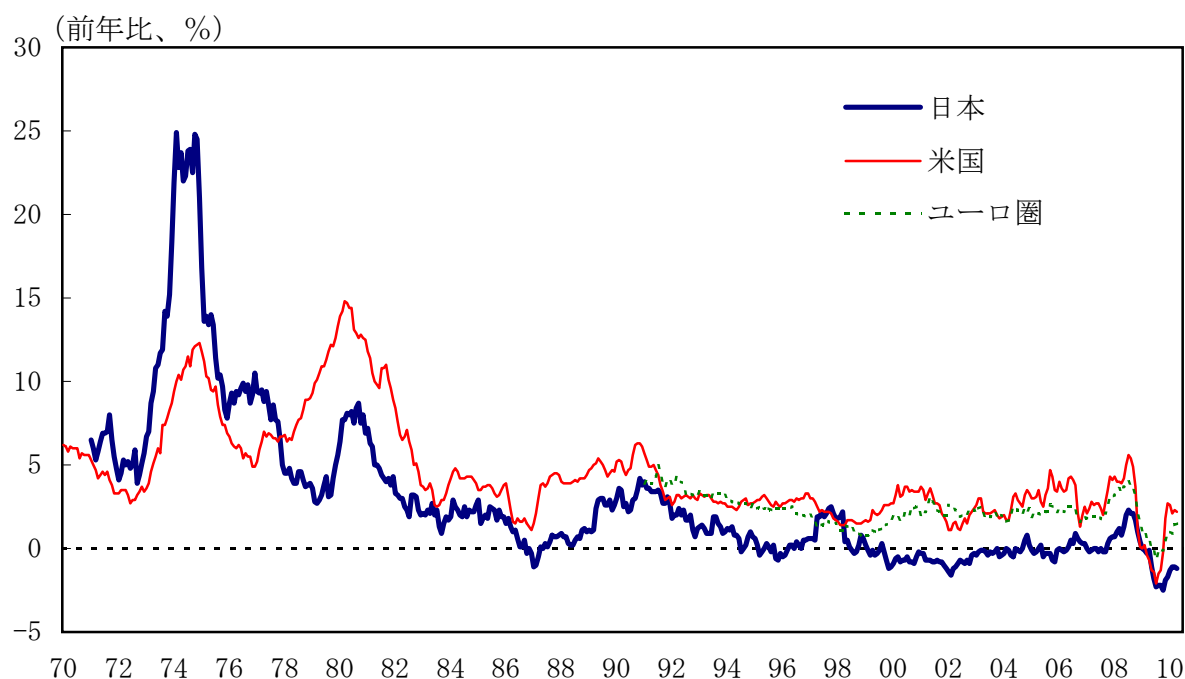


(注) 1. 2009年以降は「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」の推計値を利用。
2. 出生中位・死亡中位のケース。

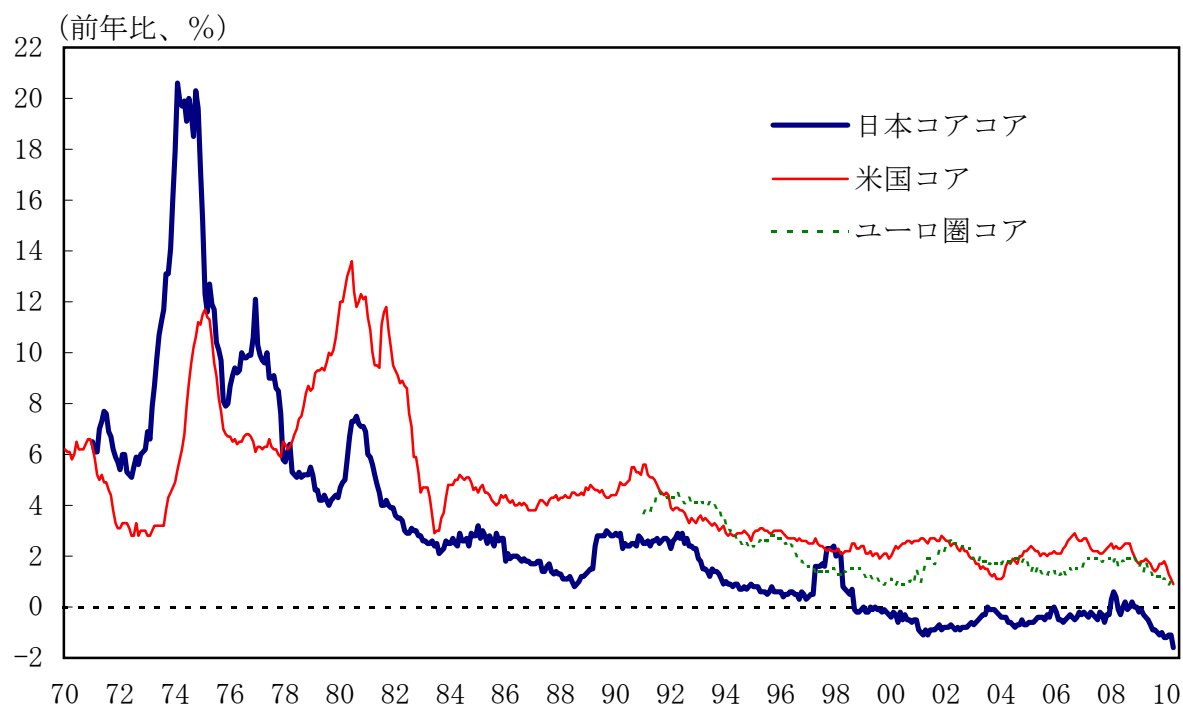
(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

日米欧の物価上昇率

(1) 総合指数



(2) コア指数

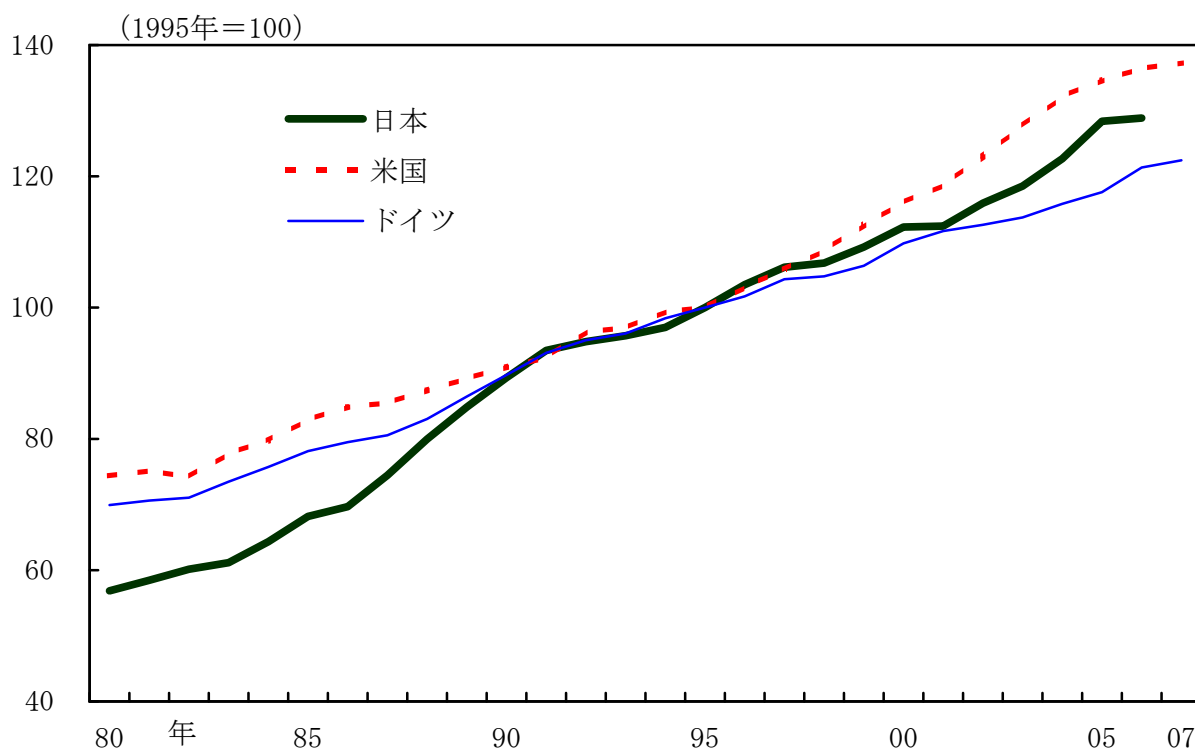


(注) 日本コアコアと米国コアは、食料品及びエネルギーを除く総合指数。ユーロ圏コアは食料品、エネルギー、アルコール、タバコを除く総合指数。

(資料) Bloomberg

各国の労働生産性

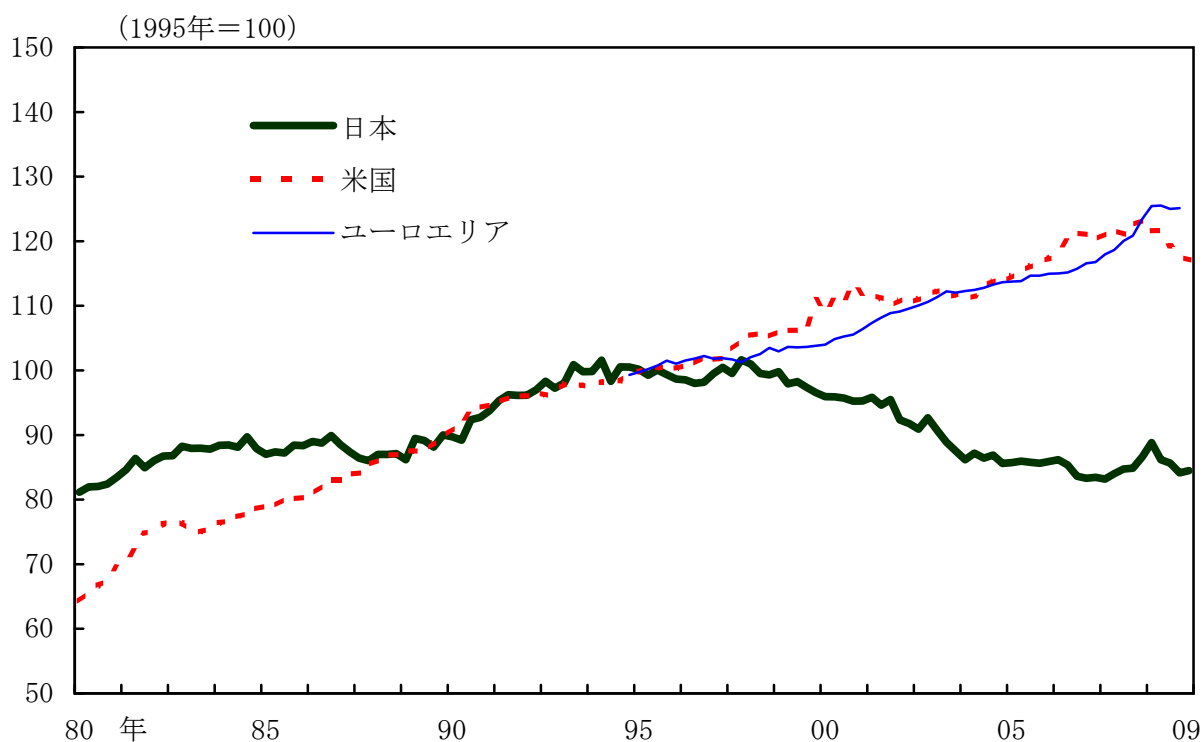
(1) 時間当り労働生産性 (実質)



(注) 各国とも市場経済部門を対象とした。

(資料) EUKLEMS2010

(2) 日米欧のユニットレーバークスト



(資料) 内閣府「国民経済計算」、Bureau of Labor Statistics、ECB